

「イノベーション共創懇談会」の設立に関する検討

技術経営会議事務局

技術経営会議の2024年度活動の一環として、専門委員会以外に「イノベーション共創懇談会」の設立を検討している。本懇談会の目標、実現したい「ありたい姿」、実施概要についての案を設定するため、3月、4月に各1回のキックオフ準備検討会を開催。本懇談会では、アウトプットを各会員企業に持ち帰って頂き実践を目標としている。

《背景》

2022年度に活動した「不確実性の時代における技術経営を考える懇談会」は、第97回本会議(2022年9月)での報告とラウンドテーブルが好評を博し、専門委員会など継続した活動が期待された。また第99回本会議(2023年9月)のテーマ検討の際には、日本の競争力低迷からの脱却が強く叫ばれた。

《活動概要》

本懇談会では、イノベーションの促進には何が肝要なのか、仮説を立て検証する。まず「課題設定」と「人材の確保・投入」が肝要であるとの仮説を立て、「適切な課題設定」「適切な人材確保・投入」という点について、有識者による講義(講演)と参加者による議論を繰り返す。議論の結果、具体的な「社会課題」と「投入すべき人財」を設定し、上述の仮説を検証するための場の構築を目指す(チャレンジ目標としてはコンソーシアム立上げ)。会員外の企業(スタートアップ等)が参加することにより、課題の設定や人材の育成に効果がある場合には、その参加を促す。

《懇談会の目的》

再び注目される日本へ導くために、技術経営会議メンバーが個社・業界の枠を超え、社会課題をビジネスで解決するためのイノベーション共創の土台をつくる。

《アウトプット》

イノベーション共創のための「社会課題の特定(設定)」、実行する「人財確保の方法」、および「次ステップ(コンソーシアム)の体制作り」

《対象》

- 技術経営会議 会員企業所属者(会員代表者もしくはその指名)
- 会員外の企業(スタートアップ等) 所属者(経営者もしくはその指名)

《実施方法》

議論を主体とし、適宜、有識者からの講演による知識のインプット、イノベーション共創促進の場の視察を行う

《役割》

【座長】: (案)AKKODiS コンサルティング株式会社_シニアエキスパート ; 北口貴史様

【副座長】: 座長を補佐する。

【コアメンバー】：6-8 名が議論/相談しながら、各会合を実質的に企画・運営する。技経会事務局との連携を密にする。

- 各回の企画・内容設定（議論テーマ、講演聴講など）
- 講師選定・依頼（必要に応じ）
- 日程調整
- 議事録作成・報告書まとめ

【事務局】：各会合の準備・開催・撤収を実施する。事務局が担当。

- 会場確保
- 開催案内配信
- 資料集約・(印刷)配布
- 会場設営・運営・撤収

《進め方・スケジュール》

【企画】

- 体制構築、企画立案（～4 月）
- 企画審議（2024 年 5 月 9 日 第 255 回運営委員会）

【募集】

- 2024 年 6 月末まで
- 会員皆様に周知・募集をかける。
☞ 会員外への募集は、会員様の参加状況により判断

【会合】

〔Phase1〕 2024 年 7 月～2025 年 2 月

「ビジネスで解決すべき日本の社会課題の特定」

「イノベーション人財確保の方法」の議論

- 第 1 回：7 月 オリエンテーション/キックオフ
- 月 1 回程度の定例会を開催、適宜臨時会合や共創現場開催を実施
- 第 100 回本会議のラウンドテーブルにて進捗状況報告

〔Phase2〕 2025 年 2 月～4 月

「次ステップ（コンソーシアム）の体制構築検討」

【報告】

- Phase1 報告会（2025 年 2～3 月）
- 参加者：議長、座長、参加企業の会員様

懇談会スケジュール

1月18日	JATES 技経会運営委員会	新専門委員会（懇談会）の実施を次回運営委員会で付議することを承認
	懇談会準備活動	コアメンバーの招集
3月26日～	懇談会設立準備会	キックオフ、活動詳細の策定開始。3/26,4/16 設立準備会開催。 メンバー：北口様(AKKODiSコンサルティング㈱)、杉浦様(三菱電機㈱)、福田様(ソニーグループ㈱)、 中山様(鹿島建設㈱)、大高様(㈱明電舎)、鈴木様(㈱大林組)、松野様(㈱東芝)、 佐相様、小島様(ケンブリッジコンサルタンツ㈱)、朝倉(古河電工)、鈴木様(JATES)
5月9日	JATES 技経会運営委員会	イノベーション共創懇談会 の立ち上げ承認
	懇談会設立準備会	メンバー一般募集、会場確保、外部講演者との整合、など
7月上旬	懇談会	キックオフ
	懇談会 Phase1	・月2回程度でメンバー会合、期間内に1回程度の合宿を実施 ・「ビジネスで解決すべき日本の社会課題の特定」、「イノベーション人材確保の方法」について検討
25年2月	報告会	Phase1 結果報告とPhase2移行承認（あるいはPhase1延長承認）
	懇談会 Phase2	・適宜メンバー会合や合宿を実施 ・専門委員会終了後の体制（コンソーシアム）の立案、コンソーシアム参加企業への打診
6月	報告会	Phase 2 結果報告、専門委員会終了の承認
10月	コンソーシアム	キックオフ

2024/5/7

イノベーション共創懇談会

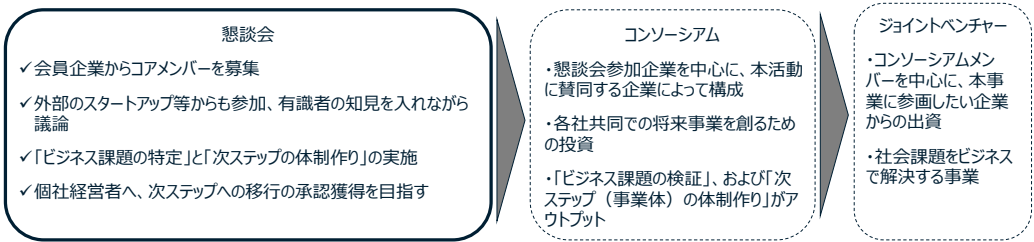
Slide 7

イノベーション共創懇談会の目的

日本復活に導くイノベーションを共創するための土台（きっかけ）を作る

- ※日本復活
- ・「リビート」ではなく「リボーン」（再生でも復旧でもない）
 - ・日本が再び自信を取り戻し、「世界から尊敬される（手本となる）」、「存在意義のある、国になること
 - ・過去と同じ社会や価値観を目指すのではない

- 失われた30年からの脱却し、人々が自信を取り戻しより幸福となる社会実現の一助となることを目指す
- そのために企業横断で、いわゆる日本の社会課題の本質を特定し、それをビジネスにより解決する活動を生み出す
- その端緒あるいは母体を生み出す活動を、JATES技術経営会議の懇談会として立ち上げる



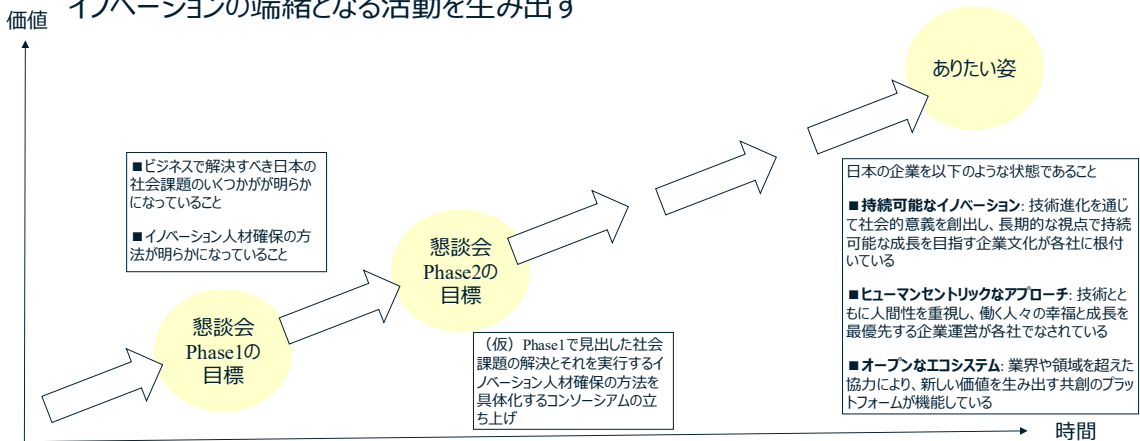
2024/5/7

イノベーション共創懇談会

Slide 3

懇談会が実現したい「ありたい姿」

ありたい姿実現に近づくために、懇談会を継続して実施し、イノベーションの端緒となる活動を生み出す



2024/5/7

イノベーション共創懇談会

Slide 4